

登録コード	T5B10300	開講年度	2026	県内大学開放授業			
授業科目	デザイン心理(16T以降)				担当教員	柳瀬 亮太	
英文授業名	Design Psychology				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限		対象学生
講義室	工W5-23教室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ						
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。				環境デザインに関わる学際的学力が身についている。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	デザインに関わる心理学および関係する諸分野の知見について概説します。 それを通じて、人間と環境の相互の関係について学びます。 適宜用意する演習課題に取り組むことで、講義内容について理解を深めます。						
(5)授業計画	以下の内容を扱う予定です。 第01週 ガイダンス 第02週 心理学の歴史 第03週 知覚 第04週 認知 第05週 発達 第06週 身体 第07週 パーソナルスペース 第08週 テリトリー 第09週 クラウディング 第10週 プライバシー 第11週 バリアフリー、ユニバーサルデザイン 第12週 歩行空間 第13週 居住空間および都市空間 第14週 研究方法 第15週 まとめ（授業アンケートへの回答を含む）						
(6)成績評価の方法	期末試験および講義に対する態度などを総合的に評価します。 原則として90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とします。 なお、公欠である場合を除いて、追試は実施しません。						
(7)成績評価の基準	(1) 人間と環境の相互の関係に関わる基礎的知見を修得している。 (2) 人間と環境の相互の関係に関わる学際的知見を修得している。 (3) より良い空間やモノをデザインする素養がある。 (4) 空間やモノに関わる諸問題を感知し、自ら解決する方略をたてられる。 上記について確認できるレベルが (1) の場合「水準にある」、(1) と (2) の場合「やや上にある」、(1) ～ (3) の場合「かなり上にある」、(1) ～ (4) の場合「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	授業内容をふまえた課題（主に小レポート）を出し、理解度や達成度を確認する。 次の授業では、その内容に応じた話題や質問にふれる。						
(9)履修上の注意	パソコンやコンベックス等の持参を求める場合がある。						
(10)質問,相談への対応	講義中もしくは前後の時間、時間外はTeamsにて受付ける。						
(11)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	建築デザイン心理学、小林重順、彰国社、2,804円 人間環境学、日本建築学会、朝倉書店、4,095円 環境心理学、羽生和紀、サイエンス社、1,785円 環境心理学（朝倉心理学講座）、佐古順彦・小西啓史、朝倉書店、3,570円 環境心理学、槇究、春風社、2,400円 環境心理学：シリーズ心理学と仕事17、太田信夫（監修）、羽生和紀（編）、北大路書房、2,420円						